



#1

#2

#3

「ハルシオン1000円。デパスが…」深夜1時に開店する大阪・西成「泥棒市」の露天商を直撃

「西成で生きる この街に生きる14人の素顔」 #3

文春
オンライン 花田 康彦

2021/05/29

genre : ライフ, 社会, 働き方, ライフスタイル, 読書

2

“人が最後に流れ着く街”と称される大阪・西成で暮らす人々は、普段どんな生活をしているのか――。西成の街を徹底取材して、労務者に仕事を斡旋する手配師、非合法薬物を売りさばいた元売人、簡易宿泊所“ドヤ”の管理人、元ヤクザの組長、さらには元シャブ中の男性までインタビューしたフリーライター・花田康彦氏の著書『[西成で生きる この街に生きる14人の素顔](#)』（彩図社）が版を重ねている。

西成の人々の素顔と本音に迫った本作から、一部を抜粋して転載する。（全3回の3回目／[#1](#)、[#2](#)を読む）



クスリ売りが語る「泥棒市」のリアル

ひと昔前は南海線の高架下で大々的に行われていた“泥棒市”。

いまは規模が小さくなり、平日は数店舗しか出ていない泥棒市でその男と出会った。

材を快諾してくれた伊藤さん（40代・仮名）に足を運んでもらった。



伊藤さん ©花田庚彦

この記事の画像（8枚）

「どうせ罰金ですむから。こういう感覚ですわ」

――伊藤さんということでもいいですか？

「名刺いただけますか。あ、東京の方ですか」

――伊藤さんが仕入れているんじゃなくて、普通の方の仕入れ先はどこなんですか。みんな生活保護受給者ですか？

「この街はね、生活保護の受給者が多いですわ。昔インターネットで、大型匿名掲示板にのってますんで、そこにずばっと書いていますわ。クスリの仕入れ方法など。そこにこの人は生活保護受給者を食い物にしているとか書いてますわ。正直いうてそこから仕入れたものだとかね」

そこに書かれていたのは、今では常識になっているが、不特定の生活保護受給者から睡眠薬や睡眠導入剤などを安く買い叩いている仕入れ先、つまりクリニックだ。

――だいたいワンシートいくらくらいですか？

「その時は、インターネットの時代でしたからね。掲示板で売買。俺も元はその中の1人ですわ。前はエリミン、リタリンの時代でした。リタリンはものすごい売買して売り上げていましたね」

ワンシートとは10錠のことである。

エリミンは使用方法によっては酩酊感を得ることができる睡眠薬であり、リタリンは覚醒剤に似た効果が得られると言われている神経系の薬だ。これらは一部の病院でしか処方されないため中々市中には出回らず、出回ったとしても高値で売買されている“闇のクスリ”だ。

ランキ

最
写

1

1

1

4

5

最新情



SPEC

2



38







コピー



©花田庚彦



実際に入手するのは処方箋のなかでは一番難しい種類ではないだろうか。

——色々なクリニックに行き売り物になるクスリをもらって、ワンシートいくら、で売っているんですよね？

「僕はキチンと処方されているんですよ、病気とか事故とかで。だけどもう飲まないから。処方してもらっても、もう飲む時と飲まない時の差がある。だから譲っている感じです」

次のページ [なぜわざわざ「泥棒市」でクスリを買うのか？](#)

関連記事



【最初から読む／#1】「ドヤの一室に切り刻んだ死体を置いとった」大阪・西成の手配師が語った“地獄のような飯場”



【前回を読む／#2】「“シャブと注射器”が焼き芋の屋台で売られていた」24時間覚醒剤が買えた街・西成“元売人の告白”



「そいつは穴に落ちて死によってん。とんだ迷惑や」鋭利なガラス片が無数に降る命懸け“日給1万円”現場のリアル



「いきなりおじさんにガン見されて『遊び行こか？』と…」大阪・梅田の地下街で体を売っていた女性（30）の告白





#1

#2

#3

「ハルシオン1000円。デパスが…」深夜1時に開店する大阪・西成「泥棒市」の露天商を直撃

「西成で生きる この街に生きる14人の素顔」 #3

文春
オンライン 花田 康彦

2021/05/29

genre : ライフ, 社会, 働き方, ライフスタイル, 読書

2

ランキ

最
写

綺麗ごとを言っているが、実際に伊藤さんも泥棒市で睡眠薬などを売っているひとりには違いはない。

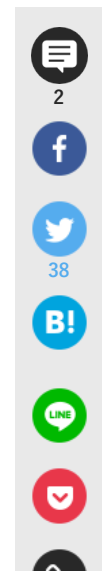
——あそこで伊藤さんみたいにクスリを売っているのって何人くらいいます？

「ピンからキリでしょうけど、だいたい10人とか？」



——そんなにいるんですか。“眠剤ある？ 眠剤ある？”って客は言っていますよね。

「立ちんぼって言われますよね。立ちんぼしてる人は一緒にDVDとか売ってるね。暗黙の了解でやっていますよね」





©花田庚彦



――摘発されても薬事法（現・薬機法）だから、すぐ出てきますよね。

「そうですね」

――だからまたすぐ立ちますよね。

「それはホンマのことですね。どうせ罰金ですむから。こういう感覚ですわ」

なぜわざわざ「泥棒市」でクスリを買うのか？

――向精神薬を使っていると、“麻薬及び向精神薬取締法”もついちゃうじゃないですか。それがつくと危ないですよ。だから導入剤とか眠剤は持っていても、向精神薬にはいきませんよね？

「危ないですね。買い手が怪しいと持っていないと言いますよね。ユーチューブの人間も最近来ますしね。

私は利益を目的としてないんで。僕は仕事もしていますからね。ゆうたら買い手はわかっているからね。売り手も悪いけど、買い手も悪いことしているって分かって買っているからね。処方されてないんだから。買い手側が一番悪いんだから。クリニック行ったらいいやんか、こうなるんですね」

実際に睡眠薬と向精神薬とでは法律上の扱いが変わる。

それを知らない素人の立ちんぼと一緒に並べて売っていることも多いが、慣れている立ちんぼは向精神薬は奥に隠しているのが常識となっている。

末端への売り値は数百円も変わらないが、日本での刑罰の取り扱いが変わるので、手慣れた人間は奥に隠しているのだ。



最新情報



SPECIAL





©花田庚彦



――確かにクリニックに行けば処方してくれるのに、なぜ泥棒市に来るんですか？ 眠れないといえ
ば、弱い薬からくれるじゃないですか。

「医者クスリの量を調整しますからね。買い手側は医者に行って長い時間待たされるじゃないです
か。それが嫌なんですよ」

――クリニック行けば保険適用だし安く買えるじゃないですか。なぜなのでしょう？

「そこはね、僕も謎のままなんです。自分がもらえない、処方してくれない、出禁になって行く所が
ない、医療費が高い。保険料の点数が高い。一番の理由は保険料を未納している人間が多いんでしょ
う。

そういう理由があって、一部の人が買い占めているんじゃないでしょうか。あと最近はインターネッ
トの売人が多い。インターネットで売られているのは本当ですわ」

実際にSNSで売られている睡眠薬や向精神薬などは、主に泥棒市でまとめて買う人間から出ているケ
ースが多いであろう。

次のページ [「泥棒市」が儲かる仕組みとは？](#)



1

2

3



関連記事





#1

#2

#3

「ハルシオン1000円。デパスが…」深夜1時に開店する大阪・西成「泥棒市」の露天商を直撃

「西成で生きる この街に生きる14人の素顔」 #3

文春
オンライン 花田 康彦

2021/05/29

genre : ライフ, 社会, 働き方, ライフスタイル, 読書

2

「泥棒市」が儲かる仕組みとは？

——西成の表側ではなく仕組みとか裏側を聞きたいんです。1日に客はどれくらい来るんですか？

「ピンキリです。ほかのとわかりませんが、平日の売り上げが1万数千円くらい。あそこは土日祝日がメインですから土日なら1日平均7万円くらい」

平日の泥棒市は夜中の1時ごろから警察が巡回しはじめる7時ごろまでなのだが、それが土日になると一変する。

ヒサヤ大薬堂



痔は切らずに
治せます

切り取る事が出来ない病根を排出し、多様な症状の痔疾も根本から治して、肛門を意識することなく、気持ちよく排便できるようになります。

>> 見本薬無料

昔のように南海電鉄の高架下まで露店が並んでいる状態になるのだ。

「ハルシオン1000円。デパスが…」深夜1時に開店する大阪・西成「泥棒市」の露天商を直撃 | 文春オンライン



最新情報



SPECIAL



休日の泥棒市には、多くの人が集まる ©花田庚彦



――じゃあ、おいしいですね。元値ワンシート数百円ですもんね。

「ハルシオンなんか元値平均400～500円。マイスリーの買い取りが1000円から。いま売られている値段が、ワンシート2500円。ハルシオンの売値は1000円。サイレースが1500円。デパスが1800円くらいですね。

この街というのはクスリだけじゃないんで。海賊版もあるんで。DVDが多いね。クスリよりDVDとかパチモンのブランド品とかね」

――動画はネットからダウンロードですか？

「いやちがうんです。みんな大阪にある日本橋の雑居ビルで買ってきて。それをコピー。本当は通報しなきゃいけないんですが、これが無くならないです」

――みんな勘違いしているんですが、基本的に通報義務って無いんですよ。児童の虐待など以外は、見て見ぬ振りでもいいんです。私人逮捕というのはありますけど。



©花田庚彦



「俺は関係ないから、って言っています。DVDは1枚200円で売られていますね。この前パクられた人は罰金50万きたみたいです。それでも無くならない。

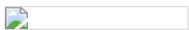
僕の出身は九州なんです。西成は日本を回ってやろうという思いの中での中継地点です。

泥棒市の露天商はね、“オレは命賭けてやっとるから”とみんな言っています。露天商はね、いうたら俺が知っている限りはみんな生活保護なんですよ。9割は生活保護、不正受給者ですよ、ハッキリ言って。

収入あげたら申告しますよね、しませんから。大阪ではみんな生活保護。ポートして酒のんでパチンコ、みんなそれだけでも金が欲しい。だからやる。だから生活保護、だから病院でタダで仕入れてくる。それを売るわけですよ。僕は違いますよ、精神障がい者の年金受給者なんで。ほんとアカン」

法規制では生活保護の受給者の収入認定は月間1万5000円まで認められている。それ以上の収入は生活扶助費から収入として引かれる形になるが、当然収入があった場合は申告をしなくてはならない。

西成で生きる~この街に生きる14人の素顔



花田 庚彦
彩図社
2021年3月27日 発売



Amazonで購入する

PRES

文藝春
ート&

週刊文
集」ア

週刊文
2021G

文藝春
動産・
ント

週刊文
ンケー

週刊文
グ特集

